

「遊休機械」を提供して、被災地の復旧・復興を支援しませんか？

全国商工会議所連携「遊休機械無償マッチング支援プロジェクト」

日本商工会議所は平成23年9月から、東北六県商工会議所連合会と連携し、東日本大震災で被災し、生産機械などを流失・損壊した事業者の復興を支援する「遊休機械無償マッチング支援プロジェクト」の全国展開を開始しています。

遊休機械を被災地に無償提供することで、復旧復興に役立ててもらいたいという善意のマッチングをめざした本事業。あなたの会社でも、ぜひ検討してみてください。

多くの企業に役立っている
支援プロジェクト

「遊休機械無償マッチング支援プロジェクト」について、日本商工会議所のホームページなどから紹介しましょう。

同プロジェクトは、全国の商工会議所会員事業者から遊休機械を無償で提供してもらい、被災事業者の要望とのマッチングを図るものです。開始から約10カ月、すでに約600件のマッチングを行い、被災地において復旧・復興を後押しする大きな力となっています。

プロジェクトを紹介した日本商工会議所発行「会議所ニュース」記事によると、「機

械の提供を受けた事業者からは、「会社、自宅のすべてが流され、事業再開など考えられなかった中で、機械の提供を受けたことで再スタートを切る決心がついた」「復旧の仕事の発注がある中で機械がなくて仕事ができなかった。これで受注ができる」などの感謝の声が寄せられている」（平成24年4月21日付）とのこと。

同記事は被災地の要望は2000件を超え、さらに大きな支援が必要であることや、要望が多いのは「鉄工・機械加工・自動車修理・木工業などで汎用的に使用する工作機械、工具類や、水産加工関連では冷蔵庫、冷凍庫など」（同右）とニーズを伝えています。

人の役に立つプロジェクトとして、大きな注目を集めています。

宇都宮でも、平出町の田崎製作所様のご協力されておられます。

支援機械は損金扱いも

では、簡単にスキームをみていきましょう。

被災地の商工会議所が必要とされている機械を、全国の商工会議所が無償提供可能な機械をそれぞれとりまとめます。それらの情報に基づいて東北六県商工会議所連合会（仙台商工会議所）が要望機械

の登録やマッチングを、日本商工会議所が被災地支援機械情報データベースの提供等を行います。

このようにして日本全国の商工会議所が連携し、被災地中小企業の復興を支援する仕組みになっています。

実際のプロジェクトの流れは、次のとおりです。

1 被災事業者が必要としている機械の発掘（「要望機械情報」の収集）

被災地商工会議所（右石県・宮城県・福島県）は、事業再開を図ろうとしている被災事業者が必要としている機械の要望を、巡回指導の際などに収集し、東北六県商工会議所連合会（仙台商工会議所）（以下、東北六県連と略す）に連絡する。同県連が一括して「被災地支援機械情報データベース」に登録する。

2 無償提供可能な機械の発掘（「提供機械情報」の収集）

被災地を応援する各地商工会議所は、「要望機械情報」を参照して、管内事業者から無償提供可能な遊休機械等の情報を収集し、「被災地支援機械情報データベース」に登録する。

3 マッチングの実施

東北六県連では、仙台商工会議所に配置されている震災対策相談員（機械の目利き人）が「被災地支援機械情報データベース」の要望機械情報と提供機械情報に基づいて、マッチング候補を絞り込み、提

供側商工会議所と連絡を取り（提供機械の現地確認等を含む）、マッチングを進める。

4 輸送等について（マッチング後）

- ・東北六県連は、機械提供事業者、提供側商工会議所の協力を得て、マッチングが成立した機械の輸送の手配を行い、被災事業者に引き渡す。
- ・輸送費用は、東北六県連が支出することとし、同県連に配分される各地商工会議所からの義援金等を充当する。
- ・提供する機械は、提供事業者が輸送時までに所要の修理・調整を行い、稼働可能な状態にする。
- ・提供した機械は、本プロジェクトに関しては、税法上、帳簿価額相当額を広告宣伝費として損金算入することができる。
- ・提供事業者が機械の提供に当たって要した修理・調整等の付随費用については、税法上、損金算入される。

などが挙げられます。

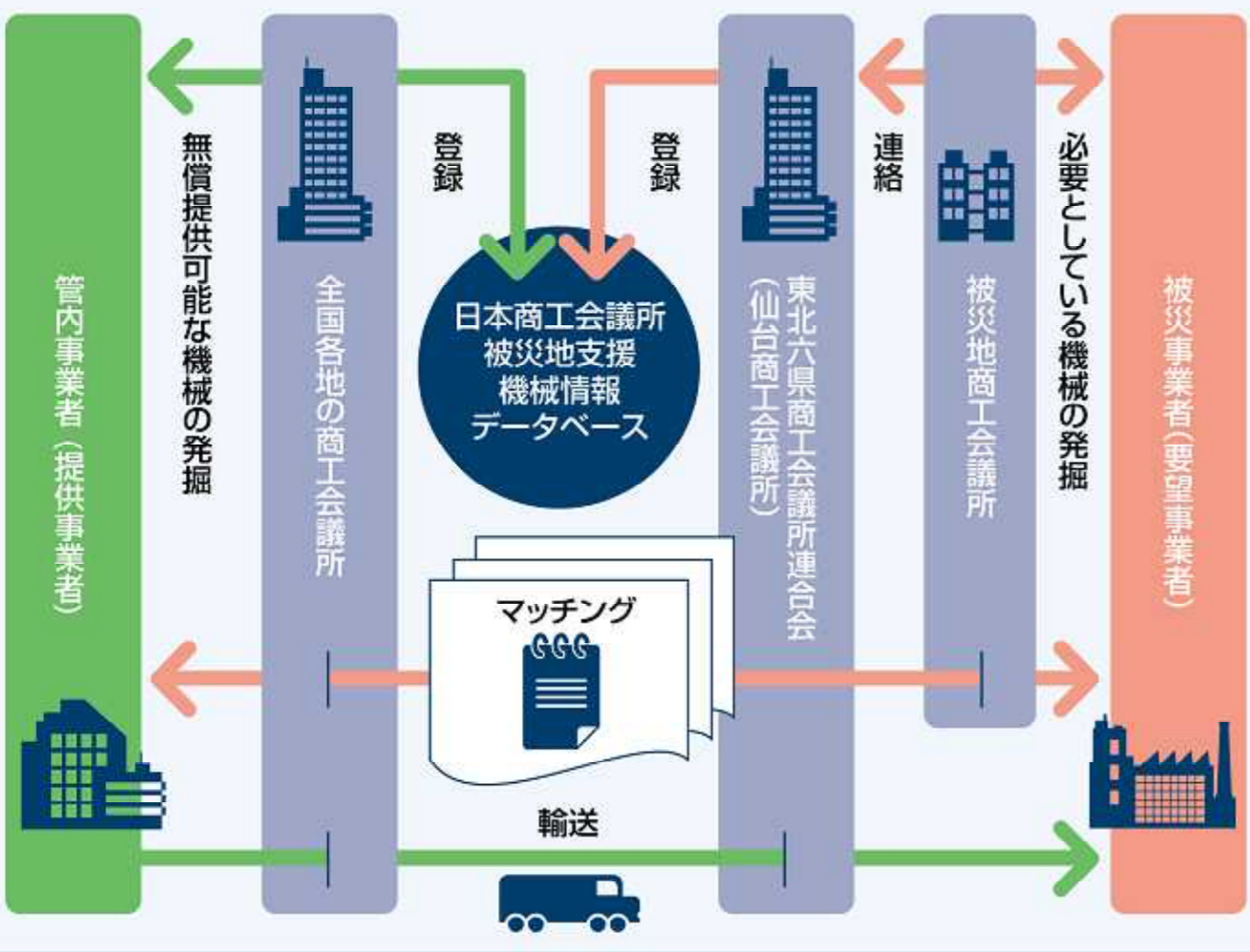
（日本商工会議所「遊休機械無償マッチング支援プロジェクト」ホームページより）
<http://www.jcior.jp/region/hokoku>
<http://www.jcior.jp/region/hokoku/kantodaisinsai/matching/>

いかがですか？ 御社でも、もし支援できるようでしたら、ぜひご協力ください。

問合せ

地域振興部
0637-3131

「遊休機械無償マッチング支援プロジェクト」スキーム図



編集後記

今月号の特集1では「山車復活で地域おこし」と題し、宇都宮市所有の「旧新石町 火焰太鼓山車」についてご紹介しました。

取材を通じて、プロジェクトメンバーの山車復活への熱い想いを感じることができました。平成26年の菊水祭巡業をめざし、一丸となって前に進む姿は、先人が山車にかけた心意気と同じです。必ずや地域活性化に結びつくことでしょう。

（天地人由来）
 天地人、地に花、人に夢を
 採用し、天を三荒山神社、地を
 宇都宮城、人を市民の和にな
 らせて宇都宮の豊かな自然
 環境、歴史的風土を考察して
 名づけました。

天地人 題字：藤井 清 名誉会頭 揮毫

vol.586 平成24年7月10日発行
 発行所 宇都宮商工会議所
 〒320-0806 宇都宮市中央3-1-4
 ☎028-637-3131 ☎028-634-8694
<http://www.u-cci.or.jp>

編集発行人 倉持和司
 編集・制作 有限会社 随想舎
 ©宇都宮商工会議所
 本誌記事・写真・イラストなどの無断転載を禁じます。